

平成 28 年 2 月 12 日

各位

会社名 株式会社ソフトフロント
代表者名 代表取締役社長 阪口 克彦
(JASDAQ・コード 2321)
問合せ先 執行役員財務担当 五十嵐 達哉
電話 03-3568-7007

新経営方針について

当社は、平成 28 年 2 月 12 日開催の取締役会において、本日付「第三者割当により発行される株式及び第 9 回新株予約権の募集に関するお知らせ」にてお知らせした資金調達により、新たな経営方針のもとに事業を推進していくことについて決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 背景

当社グループは、平成 25 年 5 月 10 日付で策定した「中期経営計画」に基づき「3つの事業領域」(①既存事業をベースに成長、②アジアマーケットを新規市場として捉える、③新たな成長基盤としてサービス事業に取り組む)に注力してまいりましたが、平成 28 年 1 月 29 日付「平成 28 年 3 月期第 3 四半期決算短信」及び平成 28 年 2 月 5 日付「(訂正・数値データ訂正)「平成 28 年 3 月期第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)」の一部訂正について」にて発表したように、当第 3 四半期連結累計期間において売上高 282,273 千円、営業損失 344,517 千円と、大きな営業損失を計上する状況となっております。

特に、通信関連ソフトウェアの提供を中心とする既存事業における収益の伸び悩み、自社製品、自社サービスの開発・事業化の遅れが業績低迷の要因であり、既存事業の見直し、事業推進スピードの向上を図るため、従来の中期経営計画に基づく方針を転換し、新たな経営方針のもとに事業を推進していくことといたしました。

2. 新たな経営方針

添付「新たな経営方針について」に図解した方針にもとづき、事業価値を向上させてまいります。

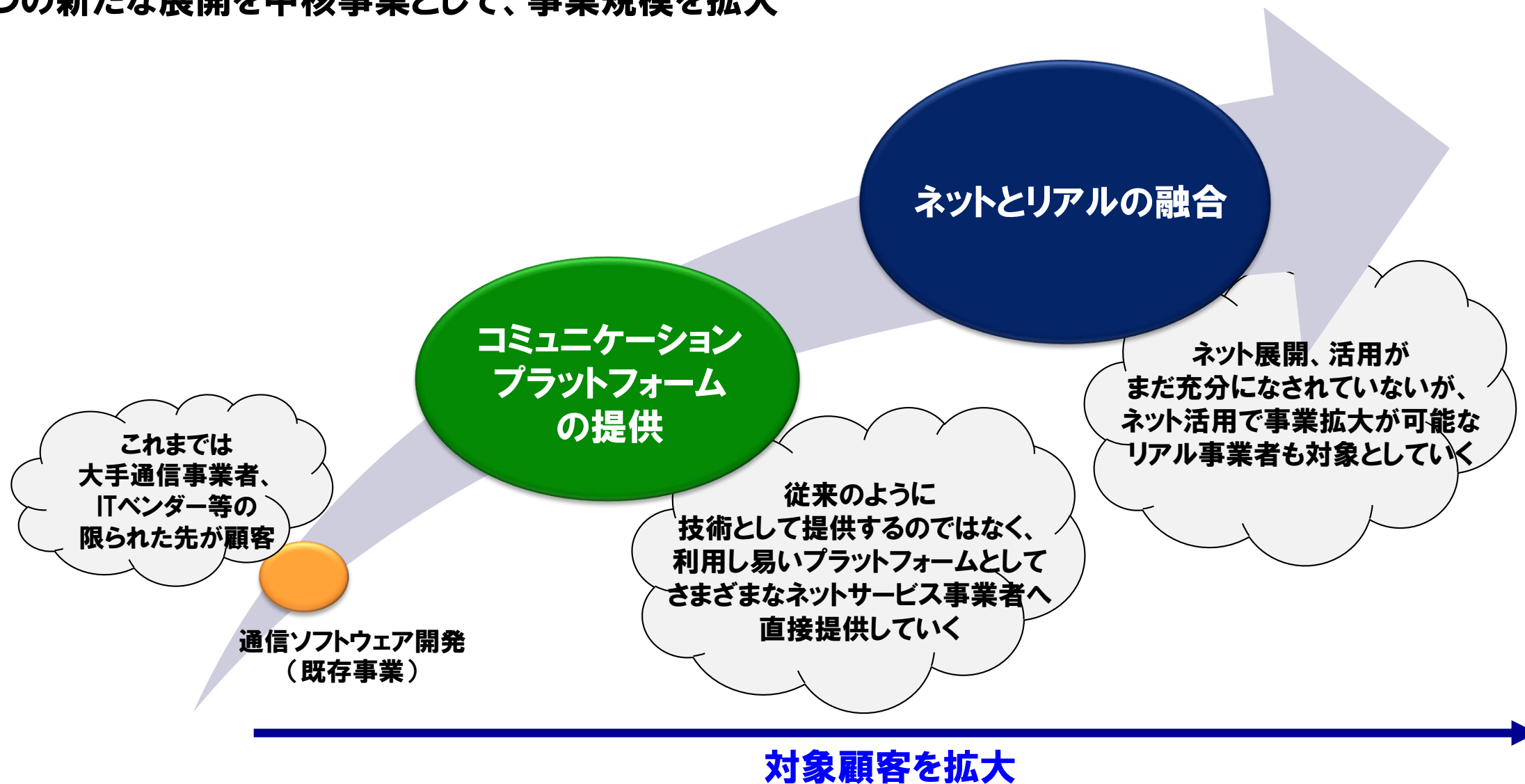
3. 今後の見通し

今後の業績見通しにつきましては、新たな経営方針にもとづく業績が算定可能となり次第お知らせいたします。

以上

新たな経営方針について

2つの新たな展開を中核事業として、事業規模を拡大



コミュニケーション機能が豊富に付加されることで、様々な事業領域のネットサービス事業者がソフトフロント社のコミュニケーション・プラットフォームをワン・ストップで活用する

顧客管理
(CRM)
サービス

ヘルスケア
サービス

教育サービス

人材紹介サービス
オンラインゲーム
など



電話



テレビ電話



FAX



メール



チャット



テレビ会議



郵便

...

ソフトフロント社の コミュニケーションプラットフォーム

大手通信事業者に認められた
高品質ソフトウェア技術

スタートアップ企業ネットワーク
による新サービスの企画力

海外拠点を活用した
グローバル対応力

ソフトフロント社のコミュニケーション・プラットフォームを介してリアルなビジネスがネットと融合して新たな事業機会を生む

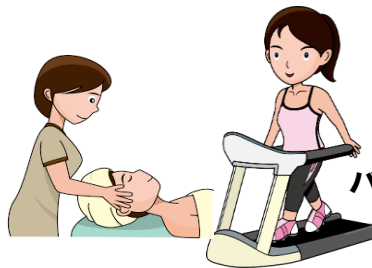
“離れたユーザーの
アイデアを持ち寄った
オープンイノベーション
ものづくり”



オリジナルフィギュア
オリジナルアクセサリ
製造販売

3D
プリント

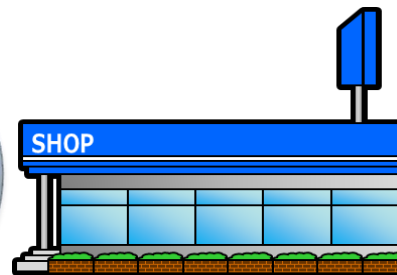
店舗
サービス



窓口翻訳サービス
バーチャルフィットネス
遠隔相談

“限られた専門家が
ネットを通じて
離れたユーザーへ
サービス提供”

店舗
販売



オムニチャネル販売
ネットコンシェルジュ

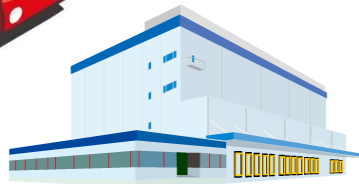
“いつでも、どこでも
好きなときに、
好きなように
買えるサービス”

ソフトフロント社の
コミュニケーション
プラットフォーム

物流



宅配から個配へ



“届いてほしいものが、
今いる場所に届く
サービス”

印刷



ネットプリント
ハイブリッド郵便



“スマホでデザインすると、
印刷されたハガキが
郵便で届くサービス”